

健康のひろば

院内報

2008. 10 月号

ホームページ <http://www.kakegawa-hsp.jp/>

愛365日 掛川市立総合病院



万が一に備えて 防災訓練

9月12日(金)、院内での“万が一の火災”を想定した、消防防災訓練が行われました。出火を想定した通報、初期消火、患者様の避難誘導の方法やルートの確認をしました。あわせて救助袋を使った避難訓練、消火栓による放水も行いました。



C・O・N・T・E・N・T・S

② 産婦人科

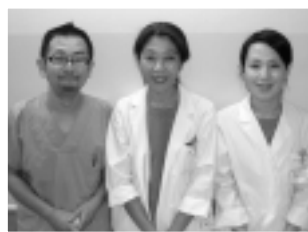
- ③ 第2回病院祭りの開催について
当院 帯金里美師長が
CNICに認定されました!!
病院停電のお知らせ
病院の概要
人事異動
編集後記

④ ナースキャップ

● 助産師・看護師募集中! 詳しくは、経営企画課 総務係 ☎0537-22-6211まで ●

産婦人科

について



加藤 誠(左) 井嶋真理(中央) 小林友季子(筆者・右)

診療科の 特徴



当科では、産科はもちろん、婦人科癌に対する抗がん剤治療、また子宮脱に関しては泌尿科と合同で手術を行なっています。近隣病院の産婦人科閉鎖に伴い、当科への来院患者数は去年よ

り大幅に増加しました。また平成19年度分娩数は331と去年比べて増加しました。

産婦人科医師は井嶋、加藤、小林の3名と浜松医大からの非常勤医師で診療にあたっています。

ハイリスク症例に関しては、科内で十分検討し、近隣の周産期センターや、がん専門病院等への紹介も行なっています。

妊娠中に 気を付けること



“お産は病気ではない” “安全なのが当然” と思っっている方は多いと思いますが、実際妊娠・分娩の過程では予期せぬ病態が起こることがあります。そのため、妊婦健診での指導をきちんと受けることや、母親学級等で正しい知識を得ることも必要です。

22週から36週までの分娩は、早産となります。現在、未熟児治療が発達したと言えども、満期で生まれた場合に比べ、肺をはじめとする臓器の未熟性の可能性があります。おなか張る、出血などは早産の徴候となることもあり、そのような症状がある場合は早めにご相談ください。また、外来で早産徴候を指摘されている方に関しては、自宅安静をお願いし、症状が増悪する場合は、入院管理が必要になることがあります。

また、近年若い世代にもメタボリックシンドロームの影響が及び、妊娠中の糖尿病や肥満が増えています。経過中に管理が悪いと、母体糖尿病の悪化、胎児奇型や胎

児低血糖などの危険性が増します。また、難産や妊娠高血圧症の発症にも大きく影響を及ぼします。ただ、体重を増やさなければいいというわけではありません。

近年の研究で、妊娠中の低栄養は、児の飢餓状態を作り、児が生まれたあと、栄養を取り込まなければいけないというプログラムがなされ、長期的にみて肥満や糖尿病、心血管障害などのメタボリックシンドロームになりやすいとも言われています。そのため、過度なダイエットも児に悪影響を及ぼします。

つまり妊娠中太りすぎても、やせすぎても良くないということです。

そのため、良質たんぱく質や野菜を取り入れた、バランスのよい栄養摂取と体重管理が必要になってきます。また妊娠中は便秘や貧血になりやすく、食物繊維や鉄分の摂取も必要になってきます。

外来妊婦健診で生活・食事指導も行いますので、気軽にご相談ください。

また、近年妊娠中の深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)



が注目されてきています。深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)は血栓(血のかたまり)が肺や心臓の血管をふさいでしまい、呼吸困難をおこし、ひどいと生命に危険が生じます。心停止などの病態となることがあります。分娩は出血が多くなることが多いためか、妊娠中は血液を固まらせようとする傾向が強くなつてきます。また、子宮が大きくなると、下半身の血管が圧迫されるため、血流が滞ってしまうため、血栓がでやすくなります。

そのため、当科では分娩中に弾性ストッキングをはいて下肢の血液の流れのとどこおりを軽減し、血栓が出来るのを防いでいます。

妊娠中、ふくらはぎが腫れて痛いなどの症状があった場合は、このエコノミークラス症候群の可能性もありますので、ご相談ください。

第2回「病院祭り」の開催について

日時 平成20年10月19日(日)
10時～15時

場所 掛川市立総合病院

内容 ミニミニ人間ドック・院内探検隊・中学校吹奏楽演奏など多彩な催し物を予定しています。詳細については、「広報かけがわ」10月1日号にチラシを折り込みますので、そちらをご覧ください

☎ 掛川市立総合病院 経営企画課
八木 ☎22-6211(内線2726)

注目です!!

するためのシステムを構築することが求められています。又、他にも様々なことが感染管理分野にて期待されます。県内でも17人しか認定されていない大変貴重な存在です。これからの当院感染対策に

愛365日



CNIC 帯金里美師長(中央)

当院 帯金里美師長が
感染管理認定看護師(CNIC)に
認定されました

CNICとは、院内感染対策の認定ナースで院内感染の効果的な予防及び管理が実践でき、施設の中心となって感染管理を推進

病院の概況

(8月)

患者数	区分		人数 [名]	前月対比 [名]
	外来	延べ	18,574	-1,181
1日平均		884	-14	
入院	延べ	11,327	89	
	1日平均	365	2	
赤ちゃん誕生	男子	19	-9	
	女子	12	-4	
赤ん坊	計	31	-13	
	1泊2日コース	7	1	
人間ドック受診	日帰り	延べ 704	-7	
	脳ドック	1日平均 34	2	
計		8	1	
		719	-5	

毎月、市の講座バスケットボール講師をしています。対象は、小学生、中学生です。真剣な眼差しでボールを追う学生達にいつも元気をもらっています。◎。初心者も経験者も友達との交流や技術向上に励んでいます。9月、10月の講座では、当院麻酔科、小林充「医師と掛川市役所バスケットボール部伊藤典生氏と県立掛川西高等学校(私の母校)男子バスケットボール部員が、地域に愛365日」をモットーに講師となり、小、中学生を指導します。講座受講については、市教育委員会南部社会教育係(電話72の1121)までお問い合わせください。◎

編集後記

病院停電のお知らせ

掛川市立総合病院電気設備法定点検のため院内停電いたしますのでご承知置き下さい。

日時 平成20年11月9日(日) 7時30分～12時

■おながいします

採用職員

◆非常勤医療補助(9/1付)
高柳喜美子 病棟2階東
◆非常勤医療相談員(9/1付)
河上高史 地域連携室

■ありがとうございました

退職職員

◆非常勤医療補助(8/31付)
大橋恵子 病棟4階西
◆非常勤医療相談員(8/31付)
石原七奈子 地域連携室

看護部
だより

ナースキャッツ

No.17

感染対策の基本を一緒に学びました

感染対策委員
感染管理認定看護師(CNIC)

帯金里美

さまざまな施設において、感染対策について取り組むことが必須となっております。その中でも、スタンダードプリコーション(標準予防策)を理解し実践することが、世界の一致した感染対策の基本となっております。



講師 神貴子氏

8月7日、院内感染対策研修会「スタンダードプリコーションと手指消毒につ

いて」神貴子氏の講演が行われ、102名の職員が熱心に学習をしました。

個人防護具の適切な着用方法、擦式手指アルコール消毒剤での手洗い方法、手荒れ防止のためのケア方法など、多くのスライドを使って分かりやすい内容でした。



CNIC 帯金里美

研修後のアンケートでは、「ぬれた手は細菌を集めやすいということが分かった」「感染対策を怠った代償はかなり大きいので、日々きちんとやるようにしたい」「手の乾燥、手の状況によって感染リスクが変動す

ることを知った」「手袋など個人防護具は、使いやすい位置に配置したい」など、いろいろな感想をいただきました。

院内感染対策は、病院環境という中での対策です。さまざまな微生物と人間は共存しているということを認識して適切な対応を心がけたいと思います。



糖尿病 カンファレンス

副看護部長 糖尿病療養指導士

榛村通江

糖尿病治療は医療チームが患者様の事を良く話し合う機会を持つこと(カンファレンス)でよい医療ができると言われていきます。

当院でしばらく開催されていなかった糖尿病のカンファレンスが、今回医師の赴任により再開されました。チームカンファレンスの目標は限られた入院期間で効果的な医療を患者様に提供できること、また治療

方針に沿ったチーム医療が行われることです。

糖尿病治療は自己管理が95%といわれます。だからこそ、医療の専門職がチームで患者様を支えます。今後の活動にご期待下さい。



輝きナース

パート 3

リッチな時間

石川友美

昨年三月より同僚と着付けクラブを始め、月一回着物や浴衣を自分で着られるよう練習しています。先生に教えて頂き、一年経過する頃には一人で着る事が出来る様になりました。継続

は力と実感しています。好きな事に一生懸命になれる時間って、とっても素敵です。先生のおかげで、今では私のとても大切な時間になっています。着物の楽しみを教えてください、女性らしさの勉強にもなり、皆と素晴らしい時間を過ごしています。ありがとうございます。今年度はみんな着物でお出掛けできるといいなと思っています。